



2009.6.14

今日の意義

2009シーズンの到達目標 = = = 昇格



現在の順位

原因は？

中盤の戦力不足



補強も一つの可能性

他の要因は？

トレーニングでは

メニューの組み立て  
選手へのアプローチの方法  
言葉の使い方  
プレー・ゲーム分析ビデオの使い方  
ミーティングの方法、時間

ゲームでは


試合前のスケジュール(HOME・AWAY)  
ゲームに向けてのモチベーションの上げ方  
軽食、プレマッチミールの取り方  
バス内での集中の高め方  
ウォーミングアップのテンポ、言葉のかけ方

チームの目標は？

変わらない

**昇格！！！！**

常にベストメンバーで、  
一つ一つのゲームを勝っていく事が目標  
勝ち点差を近づける！！！！




ゲームの様相は？

「ボールを握る」  
福岡のサッカーのモデルになるべき


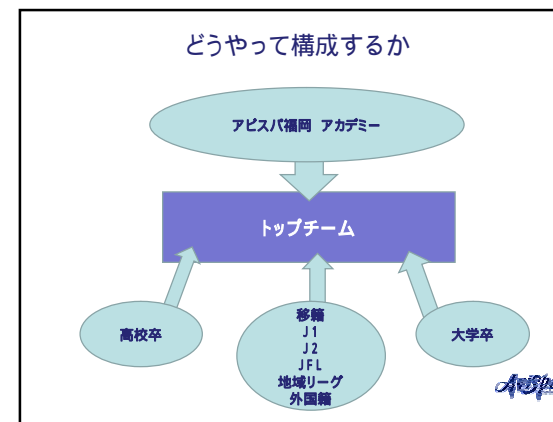
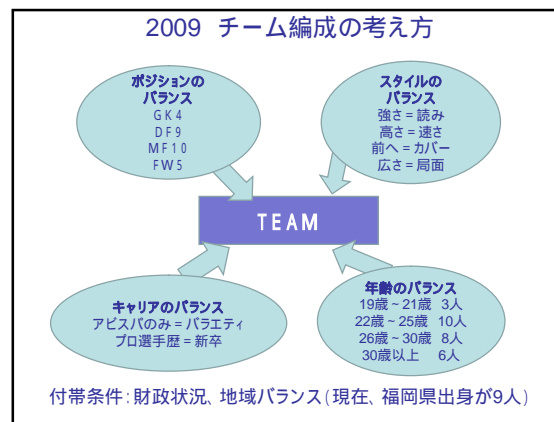
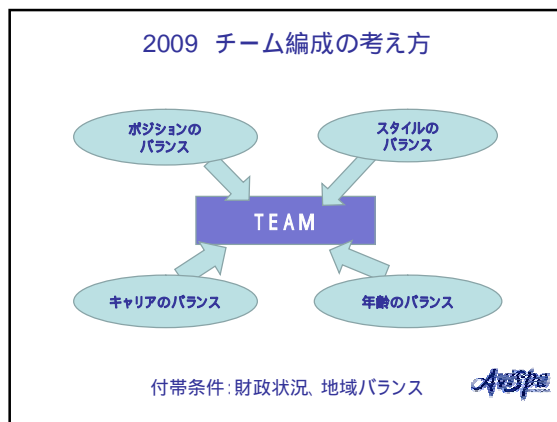
実際には？

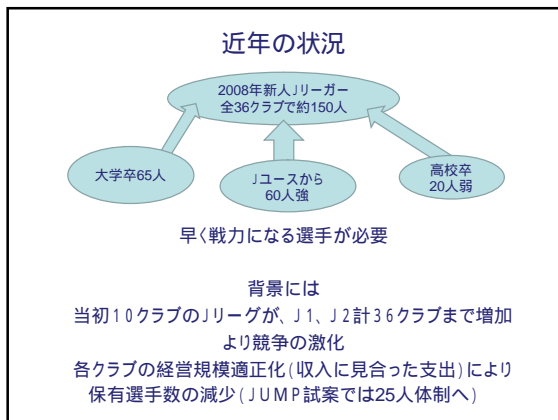
動きが止まってしまう足元へのパスに終始、  
パスの精度の悪さにより少しづつスピードが遅れ、寄せられ、  
苦し紛れにロングボール、セカンドボールを捨われる展開。  
失点後は、リズム、自信を回復するまでに時間を要してしまう。  
これはフィールド上のマネージメントの問題、自信の欠如



何をやりたいか？

テンポよく、ボールを引き出す動きを繰り返しながら、  
連動して動かす  
止めて、パスして、動いて、のリズム  
ゴール前では、高さでボックス内の動き、速さを組み合  
わせながら、バリエーションのある攻め  
ディフェンスは、相手によりラインの高さはコントロール  
ボールへの厳しいアプローチを基本とし、奪ってか  
らは早く攻める



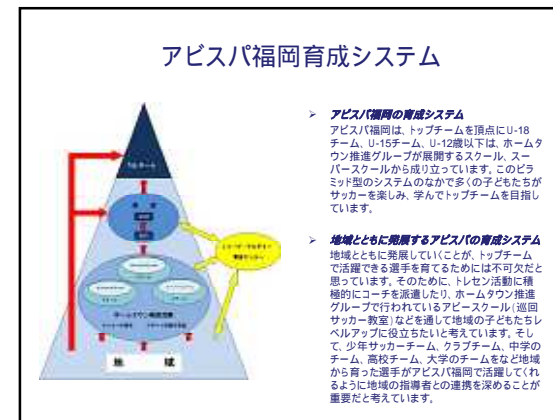
### FIFAルールの導入(2009シーズン末より)

Point1 契約が切れれば、移籍金はかからない

Point2 しかし若い選手については、  
在籍年数に応じてトレーニング補償が支払われる

↓

自クラブユース出身選手の重要性が、より高まる



### アビスパ福岡アカデミーの取り組み

**地域とともに発展するアビスパアカデミー**

スモールサイドゲームの普及 (U12の8vs8)  
指導者研修会、講習会の充実 (県協会と共催)  
選手一貫教育の体制作り  
選手・指導者の国際交流 (FCボルドーへ毎年留学)  
トレセン活動への協力

### Jリーグ・アカデミー活動参加数

Jリーグ・アカデミーデータブックより

	2005年度	2006年度	2007年度		2005年度	2006年度	2007年度
1 ジェフユナイテッド市原・千葉	60829	58138	57130	18 清水エスパルス	9926	15306	17536
2 サンフレッチェ広島	43044	48523	49556	19 大分トリニータ	3180	5580	16588
3 鹿島アントラーズ	6520	18673	32516	20 京都サンガF.C.	14008	22279	15296
4 横浜F.マリノス	43337	36554	32070	21 コンサドーレ札幌	2110	4820	14594
5 アビスパ福岡	18769	22229	28516	22 ジュビロ磐田	12947	14154	12833
6 大宮アルディージャ	19630	26856	27322	23 ガンファオーレ甲府	9250	13280	12000
7 FC東京	32637	27531	27285	24 水戸ホーリーホック	8380	12541	8391
8 ガンバ大阪	45898	34713	26276	25 サガン鳥栖	2580	10711	8330
9 セレッソ大阪	17001	19123	24220	26 名古屋グランパス	67884	13304	7470
10 川崎フロンターレ	34748	22138	23730	27 横浜FC	10020	7246	7124
11 湘南リニース	34164	18538	22431	28 愛媛FC	16978	2950	5937
12 ヴィッセル神戸	17869	11943	20346	29 FC岐阜	-	-	3725
13 東京V E.R.D.Y	11416	16427	20259	30 モンテディオ山形	3775	3444	3115
14 アルビレックス新潟	22318	18662	19048	31 ザスパ草津	1140	3202	2500
15 湘南ベルマーレ	13514	15517	18890	32 柏レイソル	16220	1316	2278
16 徳島ヴォルティス	11610	8834	18087	33 ロアソール熊本	-	-	300
17 ベガルタ仙台	13395	12138	17611				

### アビスパ福岡育成コンセプト

- **個人の育成**  
トップチームで活躍できる選手を育成するために、選手ひとりひとりの成長を考え、長期的な視点に立った指導をいたします。基本の徹底を図り、個性を生かせる選手を育てます。  
・サッカーの楽しさを伝えます。  
・14歳まではポジションを固定せずに、すべての選手に様々な経験を積ませます。  
・各年代ごとにトレーニングするとともに、能力の高い選手は年代を超えて活動させます。  
・カテゴリー別に競技に参加します(ゲーム数確保の観点)
- **人間性の養成**  
社会性やコミュニケーション能力、自己管理能力など自立したひとりの人間としての成長を大切にします。  
・選手一貫教育プログラムを実施します。  
・ボランティア活動を実施します。
- **フェアプレーの精神**  
殊方、相手、審判、そしてサッカーをするために及んでくれるすべての人に感謝できる選手を育成します。
- **学校生活との両立**  
サッカーだけでなく、学校生活でもリーダー的存在になれる選手を育成します。  
・90分間で遊ぶ選手を育成します。(10分程度入るの可也)  
・成績表の提出を求めず、成績が悪い選手は、原則として練習に参加できません。  
・コーチ陣が定期的に同校訪問して学校側と情報交換します。
- **Players First**  
選手のことを第一に考えて指導します。



### シンプルな技術

- 動きながらのBC
- コントロールからパスまで速く
- ワンタッチパス
- 前を向く技術
- ボールの置きどころ(45度)

### 観ることの重要性(プレーの準備)

観て ポジショニングを取って 観て 技術を発揮 次へ動く



これを繰り返す

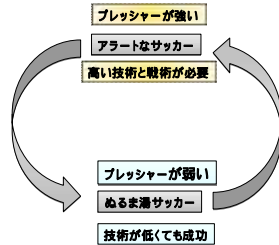
全てに判断を伴う

### ポジショニングの重要性

- 1) 相手の背中に入る
- 2) 相手と相手の間に立つ
- 3) 1タッチで前にプレーできる
- 4) 入りすぎずに前と外にスペースを残す
- 5) ボール保持者との角度を考える  
(できるだけボールよりも後ろにサポート)

### ボールを奪いに行く

ボールを奪いに行かせる  
トレーニングでも、ゲームでも



### 2009年の強化指針 (Game, TR)

- > サッカーの本質の追求
  - 1) トップ、ギャップを狙うことからサッカーを始める  
そのために必要なことを要求していく  
ポジショニング、観る、タイミング、ワンタッチパス、  
動きながらのBC(パスまでを速く)  
そこ狙う事で変化した状況を判断させていく  
ボールを奪われたら、そのままDFに入る
  - 2) ボールを奪いに行く そのベースの中で判断していく(ブロックの形成、3ゾーン)
- > ゲームで教える(30分)
- > ハイプレッシャーな状況を作る(ゲーム、TR)
- > TR量の確保(HRの導入) ゲームフィジカル
- > プレーの質の追求
- > 闘気持ち

### アビスパ福岡ユースのサッカースタイル

- > ボールを前に動かし、積極的に前の選手を追い越す  
アグレッシブなサッカー
- > 積極的にプレッシャーをかけ、ボールを奪いに行く
- > 攻守の切り替えを速く、常に主導権を握る
- > 90分間集中し、隙を突き隙を作らない

### アビスパ福岡の目指す選手像

- ▶テクニカル
- ▶インテリジェンス(判断、ゲーム理解)
- ▶スピーディー
- ▶モビリティ
- ▶タフネス(フィジカル、メンタル)

すべての要素が平均以上あり、どれかの要素が秀でている選手

### スカウトのコンセプト

#### U-15のスカウト

- ▶ 一学年18人(GK2名) 合計54名(GK6名)
- ▶ U-15チーム18名 U-14チーム18名 U-13チーム18名
- ▶ 地域のレベルアップのための施策を施し、優秀な選手がでる選手を基盤を作る(8月8日のリーグ戦の普及、巡回指導、指導者講習会、トレセンへの指導者派遣など)
- ▶ スーパースクール(GK含む)の展開・発展
- ▶ スカウト対象は、90分以内で通える選手

#### U-18のスカウト

- ▶ 一学年12人(GK1名) 合計36名(GK3名)
- ▶ U-18/17チーム24名 U-16チーム12名(U-15からの飛び級を加えて活動)
- ▶ 内部昇格6名以上(プロにつながるレベル、U-18で活躍できるレベル) 内部昇格が第一優先
- ▶ 外部4名(プロにつながるレベル)
- ▶ 寮生20名程度(通える範囲の選手であっても優秀な選手は入寮させていく)
- ▶ アビスパ福岡育成コンセプトを共有して指導できる仲間を増やす(支部、提携クラブづくり)

#### U-18からトップのトップ昇格

- ▶ プロに昇格して2年で出場できる可能性のある選手を昇格させる
- ▶ 今後、伸びていく可能性のある選手は大学に進学させ成長を見続ける

育成スタッフ全員で選手情報を集め、地域の指導者とコミュニケーションをとっていく(全員がスカウトマン)

### これらの指導の結果、数年後には？

上位リーグ、下位リーグ、  
監督のスタイル……………  
成績 etc……………

左右されない  
アビスパ固有のサッカースタイルが完成